

平成 28 年 2 月 2 日 話 題 事 項
平成 28 年 1 月 20 日 資 料 提 供 済

農林水産関係

試験研究機関の研究成果を発表します

農林水産業競争力アップ技術開発事業などの研究成果を、県民のみなさまに知っていただくため、成果発表会を開催します。多くの方のご参加をお待ちしております。

- (1) 農業試験場・暖地園芸センター
日時：平成28年2月8日（月） 13:00～16:30
場所：農業試験場（紀の川市貴志川町高尾160）

- (2) 果樹試験場
日時：平成28年2月23日（火） 13:30～16:00
場所：果樹試験場（有田郡有田川町奥751-1）

- (3) うめ研究所
日時：平成28年2月24日（水） 13:30～16:00
場所：紀州南部ロイヤルホテル 2階会議室
（日高郡みなべ町山内大目津泊り348）

- (4) 林業試験場
日時：平成28年2月15日（月） 13:30～16:00
場所：上富田文化会館 2階小ホール（西牟婁郡上富田町朝来758-1）

- (5) 水産試験場
日時：平成28年2月5日（金） 13:00～16:30
場所：紀南文化会館 小ホール（田辺市新屋敷町1番地）

* 各試験場とも参加費は無料です。

<p>お問い合わせ先 研究推進室 岩本、安江 電話：073-441-2997</p>	<p>発表課題の詳細な内容は試験場にお問い合わせ下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 農業試験場 電話：0736-64-2300 (2) 果樹試験場 電話：0737-52-4320 (3) うめ研究所 電話：0739-74-3780 (4) 林業試験場 電話：0739-47-2468 (5) 水産試験場 電話：0735-62-0940
--	--

平成27年度農業試験場・暖地園芸センター成果発表会

日時 平成28年2月8日(月) 13:00～16:30

会場 農業試験場(紀の川市貴志川町高尾160)

13:10～14:10

【口頭発表】

- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1) スプレーギクの冬季の省エネ技術と夏秋型品種の育成 | 宮前 治加 |
| 2) サツマイモ「なんたん蜜姫」の優良系統の選抜と高品質安定栽培技術 | 堺 勇人 |
| 3) 施設野菜における県産バイオマス活用技術の開発 | 林 恭平 |
| 4) 和歌山特産野菜の栄養性評価 | 岡田 武彦 |

14:10～14:50

【ポスター発表】

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| ・イチゴの間欠冷蔵処理技術の開発 | 東 卓弥 |
| ・湯浅ナスの品質向上技術の開発 | 矢部 泰弘 |
| ・和歌山県における大規模稲作農家の経営実態 | 濱中 大輝 |
| ・水稻種子の休眠特性と浸種温度が発芽に及ぼす影響 | 宮井 良介 |
| ・ワタアブラムシのネオニコチノイド剤抵抗性発達状況と抵抗性管理手法の開発 | 岡本 崇 |
| ・エンドウを加害するウラナミシジミ緊急防除技術開発 | 岡本 崇 |
| ・太陽熱土壌消毒前施肥による実エンドウの省力栽培 | 三宅 英伸 |
| ・タカナの多収生産技術の開発 | 林 恭平 |
| ・高断熱被覆資材による施設暖房の燃油削減効果 | 伊藤 吉成 |

14:50～15:35

【口頭発表】

- | | |
|--------------------------|-------|
| 5) 短節間実エンドウの品種育成 | 小谷 泰之 |
| 6) 実エンドウのハウス栽培における安定生産技術 | 川西 孝秀 |
| 7) 高糖度ミニトマトの安定生産技術 | 紺谷 均 |

●会場

口頭発表:2階大会議室
ポスター発表:2階小会議室

- 成果発表終了後、希望者には30分程度場内見学を行います。



主催:和歌山県

お問い合わせ先:和歌山県農業試験場

〒640-0423 紀の川市貴志川町高尾160 TEL:0736-64-2300 FAX:0736-65-2016

平成27年度果樹試験場成果発表会・ミカンとふれあいデー

開催日：平成28年2月23日(火)

場 所：和歌山県果樹試験場(有田川町奥751-1)

成果発表会 13:30-16:00

- | | |
|------------------------------|------|
| 1)カンキツ害虫の薬剤抵抗性実態と防除対策 | 中 一晃 |
| 2)県内のカンキツ樹から検出された温州萎縮ウイルスの系統 | 井沼 崇 |
| 3)カンキツ栽培におけるアシストスーツの利用 | 衛藤夏葉 |
| 4)ゆら早生の適正水管理法 | 鯨 幸和 |
| 5)交雑によるカンキツ新品種の育成 | 田嶋 皓 |
| 6)ウンシュウミカン新品種「きゅうき」の特性調査 | 水上 徹 |

ミカンとふれあいデー 10:00-16:00

- ・ミカンの品種や栽培園の見学と案内
- ・ミカンなんでも相談(栽培方法、病虫害の防除など)
- ・ミカン新品種などの試食
- ・鳥獣害対策の展示、相談
- ・農業用アシストスーツの展示
- ・土壌分析コーナー(お持ちいただいた園地土壌のpH、ECを測ります)



* 成果発表会、ミカンとふれあいデーともに事前申込みは不要ですので、ご自由に参加下さい。

主催：和歌山県

お問い合わせ先：和歌山県果樹試験場

〒640-0022 有田川町奥751-1 TEL:0737-52-4320 FAX:0737-53-2037

平成27年度 ウメ研究成果発表会

うめ研究所や関係機関の研究成果や現地技術情報を生産者の皆様に分かりやすくお伝えします。

主催

紀州うめ研究協議会（ウメ生産者・市町・JA・県機関で構成する技術開発の支援機関：会長：箱木英樹）

日時：平成28年2月24日（水） 13:30～16:00
場所：紀州南部ロイヤルホテル 2階 会議室（日高郡みなべ町山内大目津泊り348）

発表内容

(1)ウメの加工品開発研究について

うめ研究所 主任研究員 土田 靖久

(2)「露菌」の栽培、追熟技術および加工品開発

1. 成果概要説明

うめ研究所 主任研究員 竹中 正好

2. 連年安定結実のための予備枝の発生を目的としたせん定法

うめ研究所 研究員 下 博圭

3. 効率的な高品質追熟果実の供給技術

うめ研究所 副主査研究員 北村 祐人

(3)黒点症・油揚げ症の軽減技術

うめ研究所 主査研究員 行森 啓

(4)重曹を活用した有機栽培向け防除技術

うめ研究所 研究員 沼口 孝司

(5)梅調味廃液を活用した養鶏環境改善技術の開発

畜産試験場養鶏研究所 副主査研究員 小松 希

参加費は無料です。



発表当日はうめ研究所成果情報第9号を配布します。

お問い合わせ先

和歌山県果樹試験場うめ研究所

〒645-0021 和歌山県日高郡みなべ町東本庄1416-7

TEL : 0739-74-3780

FAX : 0739-74-3790

平成27年度 林業試験場成果発表会

林業試験場で行っている森林の保護・育成、木材の利用、特用林産物栽培などの研究成果発表会

主催 和歌山県
共催 和歌山県林業技術開発推進協議会
公益財団法人わかやま産業振興財団

日時：平成28年2月15日（月）
13:30～16:00
場所：上富田文化会館 2階 小ホール
（西牟婁郡上富田町朝来758-1）

講演

『ニホンジカの生態と被害対策』

国立研究開発法人 森林総合研究所関西支所生物多様性研究グループ

主任研究員 八代田 千鶴 氏

研究発表

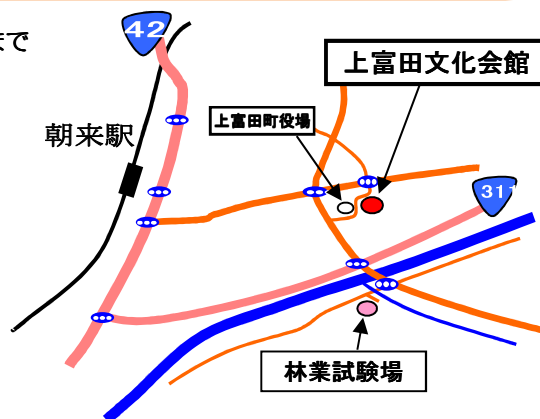
1. ニホンジカの生態調査に基づく効率的捕獲技術開発について
主査研究員 法眼利幸
2. ウバメガシにおける殺菌剤の樹幹注入によるナラ枯れ被害防止効果について
副主査研究員 大谷栄徳
3. カシノナガキクイムシの穿孔被害を受けた備長炭原木の材質特性について
主査研究員 濱口隆章
4. カシノナガキクイムシ穿孔木を材料とした紀州備長炭の
特性評価について(第3報)
主任研究員 坂本 淳



参加費は無料。参加をご希望の方は、電話・FAX・メールなどで下記までお申し込み下さい。（当日、会場受付での参加申し込みも可能です。）
申込内容：氏名、所属（勤務先など）

参加申込・お問い合わせ先

和歌山県農林水産総務課 研究推進室
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
TEL：073-441-2997
FAX：073-433-3024



平成27年度水産試験場成果発表会

基調講演と水産試験場で実施した試験研究成果の発表会です。

日時 平成28年2月5日(金) 13:00~16:30

会場 紀南文化会館 小ホール (田辺市新屋敷町1番地)

☆基調講演

「和歌山のマナモコ・アサリ・カキ類を増やすための戦略」

国立研究開発法人 水産総合研究センター・瀬戸内海区水産研究所

主幹研究員 浜口 昌巳 氏

浜口 昌巳 (はまぐち まさみ)

昭和36年和歌山県東牟婁郡古座川町高池生まれですが、実家は那智勝浦町下里にあります。博士(農学)。

愛媛大学大学院で学位(農学博士)取得後、水産庁入庁。水産庁南西海区水産研究所を経て、現在は瀬戸内海区水産研究所生産環境部主幹研究員ですが、平成18年4月より広島大学大学院生物圏科学研究科教授も併任しています。

専門は海洋分子生態学で、主に、アサリ、カキ類、マナモコ、アワビ類などの海産ベントス類の生態研究を行っています。また、ダイバーとして東北大地震後、東北地方の藻場やアマモ場の回復状況の調査なども担当しています。これらの研究内容から、広島大学大学院では藻場・干潟保全論を担当しています。お盆や正月などの長期休暇では実家の下里に帰省し、玉之浦などでシーカヤックを楽しんでいます。

☆研究発表

- | | | |
|-----------------------------------|-------|-------|
| 1) 磯根漁場の生産力強化技術の開発 マナモコの種苗生産技術の開発 | 増養殖部 | 白石 智孝 |
| 2) 磯根漁場の生産力強化技術の開発 藻場造成技術の開発 | 増養殖部 | 白石 智孝 |
| 3) 新養殖魚「スマ」の種苗生産技術の開発 | 増養殖部 | 加藤 文仁 |
| 4) 和歌山県特産魚の産卵場解明 | 資源海洋部 | 原田 慈雄 |
| 5) アシアカエビを中心とした小型底びき網漁業の漁獲実態について | 資源海洋部 | 堀木 暢人 |



マナモコの浮遊幼生
(アウリクラリア幼生)



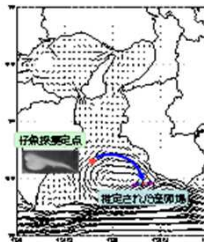
種苗生産した稚ナマコ



産地毎に形態が異なるヒロメ



人工ふ化したスマの稚魚
(ふ化後1週間)



シミュレーションにより
推定された産卵場



小型底びき網漁業で漁獲された
アシアカエビ

主催: 和歌山県
共催: 公益財団法人わかやま産業振興財団

お問い合わせ先

和歌山県 農林水産部 農林水産総務課研究推進室
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
TEL: 073-441-2997 FAX: 073-433-3024